

高品質特殊鶏卵生産技術確立試験

作田 敦・御幡 寿

要 約

中小農家へ付加価値の高い特殊鶏卵を普及させるため、アローカナ交雑鶏と高産卵烏骨鶏について卵殻色並びに産卵率を中心に改良している。

本年度においては、アローカナ交雑鶏の成鶏生存率は、H系が98.0%，AC系99.2%，烏骨鶏Uは97.6%と前年に比べ良い成績を示した。産卵率は、アローカナ交雑鶏のH系が56.8%，AC系が66.7%と前年より低い成績を示したが、烏骨鶏Uは47.5%と前年より良い成績を残した。

キーワード：高品質卵用鶏、アローカナ、烏骨鶏、特殊鶏卵

緒 言

近年、消費者ニーズの多様化、高度化に対応するため、生産者は卵の質的向上とともに、一般的な白玉卵とは違う様々な特殊鶏卵の生産を望んでいる。

そのため、当室保有の青色卵殻鶏や特殊鶏を利用した特殊鶏卵生産技術を確立して、中小養鶏農家への普及を図るため、改良を進めると共に、初生ひなの配布を行っている。

材料及び方法

1. 供試鶏

アローカナ交雑鶏（青色卵殻鶏）

2系統 雄70羽 雌280羽

高産卵烏骨鶏 雄50羽 雌130羽

2. 調査期間

平成13年4月～14年3月

3. 飼育形態

餌付けから28日齢までは電熱立体育雛機で、その後、試験終了までは雌雄別々に開放鶏舎でケージ群飼いとし、120日齢時に個別ケージ飼いとした。

4. 給与飼料

餌付けから28日齢までは幼雛育成用飼料（CP 20%，ME 2900kcal/kg），70日齢まで中雛育成用飼料（CP 18%，ME 2800kcal/kg），140日齢まで大雛育成用飼料（CP 15%，ME 2750kcal/kg），140日以降は成鶏用飼料（CP 17%，ME 2850kcal/kg）をそれぞれ不断給餌した。

5. 調査項目

生産率、産卵性、体重、卵殻色等について調査を実施した。

結果及び考察

系統別成績は、表1のとおりである。

アローカナ交雑鶏については、産卵率の改良と卵殻色の改良の要望が強く、AC系について産卵率の向上を計画したが、閉鎖群において前年より産卵率の低下が見られた。また、卵殻色も緑青色の低下が見られ今後とも改良が望まれる。烏骨鶏U系は目標産卵率50%をやや下回ったが、飼養管理の改善により昨年に比べ生存率・50%産卵日齢等で良い成績を示した。

なお、表2のとおり羽数は少ないがグリーンエッグ生産農家に初生ひなを払い下げた。

表1 系統別成績

系 統	生存率 (%)	50% 産卵日齢	産卵率	150日齢	卵殻色		
			151~300日	体重 (kg)	L	a	b
H	88.0	160	56.8	1.68	78.53	-8.48	6.5
A.C.	90.2	162	66.7	1.62	83.85	-8.47	3.36
U	97.8	171	47.6	0.87	72.03	9.28	23.31

表2 グリーンエッグ鶏雛払い下げ実績 (1セット100羽)

市町村名	北茨城市	常陸太田市	下妻市	大洋村	鉢田町	計
セット数	1	1	1	1	1	5